

くすの木タイム学習指導案

第3学年

I 単 元 あがれ！広がれ！ぼくらのべえ凧プロジェクト

II 考 察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

①知識及び技能

べえ凧やその文化，べえ凧の復活に力を注ぐ人々の特徴やよさ
べえ凧やその文化，べえ凧の復活に力を注ぐ人々と関わる技能

②思考力，判断力，表現力等

べえ凧やその文化，べえ凧の復活に力を注ぐ人々の特徴やよさ等に関連付けながら目的や課題を見だし，関わり方を導く力

③学びに向かう力，人間性等

意欲や自信を高めながらべえ凧やその文化，べえ凧の復活に力を注ぐ人々に関わろうとする態度

(2) 学習内容：

- ・探究課題 べえ凧の文化とその復活に力を注ぐ人々
- ・その具体 人：赤城凧の会や商工会議所緑水会等のべえ凧の復活に携わる人々
もの：からっ風を受けて揚がる頑丈で大きなべえ凧
こと：養蚕の発展や子どもの成長の繁栄を願って人から人へ継承されてきたべえ凧文化

(3) 単元の価値

本単元は，子どもたちがべえ凧を作りべえ凧の復活に力を注ぐ人々と関わって得た，べえ凧の文化とその復活に力を注ぐ人々の特徴やよさを発信する学習である。その価値は以下のとおりである。

べえ凧とは，子どもの成長や繭の価格の上昇を願い揚げられていた上州固有の凧である。前橋市周辺では，関東随一の強風，からっ風に耐えうる頑丈さや人々を魅了する大きさを兼ね備えている。江戸時代に始まり，親から子へ，地域の大人から地域の子へと作り方が伝承されてきた。しかし，高度経済成長期になると核家族化や地域の関係の希薄化等によりべえ凧の作り方の伝承の機会が減り，その文化は消えていった。そこで，30年前から文化伝承の大切さやべえ凧の魅力を再考しようと，べえ凧を復活させる活動が始まった。

カイコを育て，地域の養蚕製糸文化について学習してきた子どもたちにとって，べえ凧文化についての問題は，養蚕製糸文化とかわりがあるため，興味・関心を高められる問題である。また，まだ復活する期待がもてるため，追究する必要感をもてる問題である。

べえ凧を作って揚げ，その魅力を地域へ広めることは，地域の歴史や気候，伝統文化の復活に携わる人々の思い等，多様な角度から地域の特徴やよさを知ることにつながる。また，べえ凧づくりや魅力の発信に必要な情報は，Webページや図書資料にあまりなく，専門家へインタビューしたり実際に凧を飛ばした結果を考察したりして得るため，国語や理科等で培われた技能や見方・考え方を生かして，べえ凧の特徴やよさを得ていくことになる。そして，べえ凧の設計図や魅力の発信方法の検討では，最適な材料の選択やその組み立て方，凧揚げ大会のPRの仕方等，そ

れぞれについて複数の要素から考える必要があるため、多様な角度から見たべえ凧の特徴やよさを基に、分析的に見ることにつながる。そして、1人では解決の難しいこの問題の解決に向けて他者と協働して取り組み、その成果を共有することは、学級や地域の一員としての自信をもつことにつながる。

これらの探究を通して子どもたちは、地域の伝統文化が人々のつながりの上に成り立っていることや、地域の人と関わっていくことが文化継承になることの概念的な理解をし、地域への愛着を高めていく。

(4) 今後の学習

凧作りや凧揚げといった自分の思いで関わるこの学習は、4年「広げよう！友達の輪」において、附属特別支援学校の児童との交流を繰り返すという、自分の思いに加えて相手の思いや立場を汲み取って関わる学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、3年「カイコ博士になろう」において、カイコを育て、繭や真綿からものを作った中で得た特徴やよさを発信する学習を行ってきた。その学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は以下のとおりである。

① カイコを育て繭から真綿のカーテンを作る活動の中で、養蚕・製糸・織物業の特徴やよさを得られるようになってきている。このような子どもたちが、体験活動だけでなく専門家や地域の人からべえ凧やその文化、べえ凧の復活に力を注ぐ人々の特徴やよさを得られるように、凧の会の方や商工会議所緑水会の方等との情報交換と、地域の人へのべえ凧の認知度調査の機会を設定する。

繭の活用方法について、メリットの表を用いて比較・分類をできるようになってきている。このような子どもたちが、べえ凧の設計図や魅力の発信方法について比較・分類・関連付けをできるように、ウェビング図やPMN等のシートを活用する機会を設定する。

② カイコの世話や繭の利用、養蚕文化について、複数の根拠を基に課題を見だし、それらの関わり方を導けるようになってきている。このような子どもたちが、凧作りや大会のPR、べえ凧文化について、複数の根拠を基に課題を見だし、それらの関わり方を導けるように、「対象を選択する視点」や「課題を解決した状態の具体図」と、情報や考え等を言語化・可視化して整理する振り返りシートの用意をする。

③ カイコの世話や繭の利用についての課題の解決への意欲や自信をもてるようになってきている。このような子どもたちがべえ凧やその文化、べえ凧の復活に力を注ぐ人々についての課題の解決への意欲や自信を高められるように、活動ごとに自分が与えたよい影響について友達から評価をもらう振り返りシートを読み合う機会を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- ねらい 自分たちの班で作った凧のよかった点（P）や問題点（M）を基に改善策（N）を話し合い、決めることを通して、べえ凧の特徴やよさを多様な角度から見直し、把握する。
- 準備 前時の振り返りシート 「これぞ！べえ凧」の具体図 PMNシート 付箋紙 試しの

3 展 開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点				
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達はN「和紙の厚さを同じにする」と思っているのか。ぼくはN「和紙を厚くする」と書いたけれど，なぜ厚さを同じにしたいのかな。 ・ぼくの発言がNを考えるヒントになったと，友達を書いてくれて嬉しいな。今日も頑張ろう。 ・「これぞ！べえ凧」になるように，班の友達と話し合っ，みんなが納得できるNにしたいな。 <p>2 作ったべえ凧のよかった点（P）と問題点（M）を基に改善策（N）を班で話し合う。</p> <table border="1" data-bbox="185 866 805 1032"> <thead> <tr> <th data-bbox="185 866 502 913">よかった点（P）</th> <th data-bbox="502 866 805 913">問題点（M）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="185 913 502 1032"> <ul style="list-style-type: none"> ・外トイレより高くあがった ・糸の結び目が外れなかった ・30秒くらいあがった </td> <td data-bbox="502 913 805 1032"> <ul style="list-style-type: none"> ・くるくる回った ・和紙が破れた ・和紙がデコボコ ・竹ひごが外れた </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「これぞ！べえ凧」の図を見ると，P「だれでも揚がった」もあるね。その後，壊れたけどね。 ・ぼくは，M「和紙が破れた」からN「和紙を厚くする」がいいと思うよ。 ・友達の言うように「これぞ！べえ凧」の図には，「軽さ」があったな。N「和紙を厚くする」だと重くなって揚がらないかもしれないな。 ・でも，N「和紙を薄く・軽くする」だと，M「和紙が破れた」が改善されないな。 ・N「洗濯のりを増やす」はどうかな。和紙の作り方の紙に洗濯のりの量のことが書いてあったよ。厚くしなくても丈夫な和紙になりそうだよ。 ・他にも，友達のN「和紙の厚さを同じにする」は，M「和紙がデコボコ」とM「くるくる回った」が改善されそうで納得だな。 ・次は，洗濯のりの量や同じの厚さにする方法を調べて，和紙を作りたいな。 <p>3 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班のみんなが納得のいくNを考えられてよかったな。前よりも友達の考えを聞いて考えられるようになったからかな。頑張れたな。 	よかった点（P）	問題点（M）	<ul style="list-style-type: none"> ・外トイレより高くあがった ・糸の結び目が外れなかった ・30秒くらいあがった 	<ul style="list-style-type: none"> ・くるくる回った ・和紙が破れた ・和紙がデコボコ ・竹ひごが外れた 	<ul style="list-style-type: none"> ○べえ凧を揚げてみて，よかった点（P）と問題点（M），改善策（N）についての友達との認識のずれと，自らの取組への自信を感じられるように，班の友達と前時の振り返りシートを読み合うよう促す。 ○PとMを基にして改善策を考えたいと思えるように，「これぞ！べえ凧」の具体図を提示し，本時取り組むことを問いかける。 ○PやMの可視化と整理をできるように，P MNシート上で，前時にPやMを書いた付箋紙を操作するよう促す。 ○べえ凧作りや試しの凧揚げの様子から，再度PやMを見付けられるように，互いの書いたPやMを見合い、「これぞ！べえ凧」の具体図と照らし合わせることを促す。 ○PやMとNとの関係が明確になるように，Nを書く際に，PやMとNとを矢印でつなぐよう促す。 ○和紙の厚さ・軽さと丈夫さを両立させる方法を考える必要性に気付けるように，PとNが相反するものになっていたり，具体図に照らして矛盾が生じたりしていないことを確認するよう促す。 ○Nの根拠となる情報に立ち戻れるように，試しの凧揚げの写真や調べたことの記述，振り返りシート等を見返すよう促す。 <div data-bbox="855 1648 1407 1832" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">作った凧の改善策（N）の根拠を複数記述したり発言したりしている <学習プリント・発言②></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○今後の追究への意欲と自信を高められるように，Nを導く過程のよさと，そのよさを得られた自分の頑張りについて発言したり記述したりしたことを称賛する。
よかった点（P）	問題点（M）				
<ul style="list-style-type: none"> ・外トイレより高くあがった ・糸の結び目が外れなかった ・30秒くらいあがった 	<ul style="list-style-type: none"> ・くるくる回った ・和紙が破れた ・和紙がデコボコ ・竹ひごが外れた 				

指導と評価の計画（全30時間）

目標	べえ凧作りや作った凧を揚げたり、べえ凧の復活に力を注ぐ人々（凧の会や商工会議所緑水会、凧揚げ大会に参加している団体の人々）の思いを聞いたりし、それらの発信を通して、地域の伝統文化が人々のつながりの上に成り立っていることや、地域の人と関わっていくことが文化継承になることの必要があるという概念的な理解をし、地域への愛着をもつ。			
評価 規準	<p>(① 知識及び技能)べえ凧やその文化、べえ凧の復活に力を注ぐ人々の特徴やよさの特徴・よさを理解している。 べえ凧やその文化、べえ凧の復活に力を注ぐ人々の特徴・よさを比較・分類や関連付けをする思考ツールを使うことができたり、他者の考えを把握し自らの考えを活かしたりしている。</p> <p>(②思考力・判断力・表現力等)べえ凧やその文化、べえ凧の復活に力を注ぐ人々についての課題を設定し、それらについて調べ、調べたことや他者の発言といった複数の情報を根拠として解決方法を導き、実践している。</p> <p>(③主体的に学習に取り組む態度)べえ凧やその文化、べえ凧の復活に力を注ぐ人々への関心を高め、取組への思いや自信をもち、地域への親しみを感じている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
であ う	1	○群馬県の特徴ある伝統文化への関心を基に、凧やこけし、歌舞伎といった対象の候補から対象を選択する方法を話し合ったりそれらについて調べる。	○対象を選択する視点を導けるように、これまでのくすの木の写真と振り返りシートを用意する。	◇対象を選択する視点として、追究していきたいものや、地域のことが分かり役に立てるものといった、これまでの取組を基にした思いを記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言③>
	3	○専門家の話や資料、体験を基に、対象にしたいものとその理由を話し合い、対象を決める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">思いや願い：べえ凧を作って、揚げて、広げよう</div>	○対象の候補である、凧、こけし、歌舞伎を対象対象としての選択した際のそれぞれの特徴やよさを比較できるように、追究するメリットを整理するマトリクスを提示する。	◇対象にしたいものを自分なりに決め、その理由をおもしろそうなものや挑戦してみたいものといった、対象を選択する視点を記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言②>
か か わ る	2	○凧の会の方の話を整理したり、作りたい凧について話し合ったりして、課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題：これぞ！べえ凧を作るにはどうしたらよいのだろう</div>	○自分たちでもよく揚がる凧を作れそうなことや、これからの思いをもつことができるよう、凧の会の方の話を振り返る「意外だったこと」の視点を提示する。	◇これまでの学習を基に、よく揚がる凧を作りたいという思いと、これから取り組みたいことを記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言③>
	1	○課題の解決に向けて、凧を作るための学習計画を立てる。	○課題を解決した状態を具体的に想定できるように、べえ凧の特徴・よさを整理する「評価する人」と「評価してもらう方法」の視点を提示する。	◇べえ凧の特徴やよさを記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言①>
	2	○凧の作り方を整理したり、Web ページや図書資料で調べたりし、グループで凧作りの設計図を作る。	○凧の作り方、その構成を整理できるように、凧の作り方について調べたことを「手順」や「材料」など観点別に記入できる学習プリントを用意する。	◇べえ凧に適した作り方を選択し、「手順」や「材料」などの観点に分けて記述している。 <学習プリント②>
	3	○べえ凧の和紙の作り方を調べて整理し、試しの和紙作りをする。	○べえ凧に適した和紙の作り方を選擇できるように、「これぞ！べえ凧の具体図」を用意する。	◇「これぞ！べえ凧」の具体図の視点から和紙の作り方の根拠を説明している。 <発言②>
	3	○凧作りについて調べたり、試しの凧作り・凧揚げをしたりし、感想を伝え合う。	○作成した凧について、「丈夫さ」や「軽さ」等の視点から、自分なりに、よさや問題点を見付けられるように、「これぞ！べえ凧」の具体図とPMNのシートの用意をする。	◇作成した凧のよさと問題点について、「丈夫さ」や「軽さ」等の複数の視点から記述している。 <学習プリント②>
	1	○ 試しの凧揚げの結果を基に、べえ凧の特徴を話し合い、設計図を見直す。(本時)	○自他の考えた凧のよさと問題点を基に設計図を見直すことができるように、「これぞ！べえ凧の具体図」と前時に記入したPMNのシートを用意する。	◇作った凧の改善策の根拠を複数記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言②>
	3	○試しの凧作り・凧揚げをし、感想を伝え合う。	○作成した凧について、前回見直した視点以外の視点からも自分なりに、よさや問題点を見付けられるように、「これぞ！べえ凧の具体図」とPMNのシートの用意をする。	○凧作りに最適な和紙の作り方を調べ、記述している。 <学習プリント①>
	2	○凧の会の方のアドバイスを基に、班で作成した凧の設計図を見直す。	○今までに得たべえ凧の特徴やよさを基に設計図を見直すことができるように、「これぞ！べえ凧の具体図」と前時に記入し	◇作製した凧のよさと問題点について、「丈夫さ」や「軽さ」等の複数の視点から記

			たPMNのシートを用意する。	述している。 <学習プリント②>
1	<p>○風の会の方から風の文化やかかえる諸問題、その文化に対する思いを聞いたり、べえ風の認知度調査を行ったり気付いたことや疑問を話し合い、課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題：べえ風作りや風揚げの魅力を市民にもっと知ってもらうためにめには、どうしたらよいのだろうか。</p> </div>	○べえ風の特徴やよさを発信する目的と相手を明確にできるように、商工会議所緑水会の方に話を振り返る、「意外だったこと」の視点を提示したり、べえ風の認知度超調査の実施を促したりする。	◇今までの学習を基に、市民の方にべえ風の特徴やよさを伝えたいという思いを記述している。 <学習プリント①>	
1	○べえ風作りの魅力を発信する内容を話し合い、計画を立てる。	○課題を解決した状態を具体的に想定できるように、べえ風の特徴やよさ（魅力）を整理する「評価する人」と「評価してもらう人」の視点を提示する。	◇べえ風の特徴やよさを基に、発信内容を発言している。 <学習プリント・発言②>	
1	○べえ風作りの魅力を発信する方法を話し合い、決める。	○発信方法のメリットを整理しながら、比較できるように、課題を解決した状態の具体図とマトリクス表を用意する。	◇「べえ風の魅力が分かる」の具体図をもとに、発信方法について発言したり、記述したりしている。 <学習プリント・発言②>	
3	○決めた発信方法の準備をしたり、風大会の運営の方と打ち合わせを行ったりする。	○目的や相手を意識して、べえ風の特徴やよさを伝えられるように、課題を解決した状態の具体図を用意する。	◇べえ風の特徴やよさを基にして、風揚げ大会へ向けた風作りに取り組んでいる。 <学習プリント・発言・行動①>	
課外	○大会に出場し、大会を見物した方や保護者の方にアンケートをとる。集計し、作成した風の発信の成果を話し合う。			
1	○大会を見物した方や保護者の方のアンケートを集計し、作成した風の発信の成果を話し合う。	○アンケート結果を基に課題の解決状況を評価できるように、課題を解決した状態の具体図と感想を集計するシートを用意する。	◇風揚げ大会を見物した方や保護者のアンケートを基に、今までの取り組みの成果を記述している。 <学習プリント③>	
・まいとかめする	○これまでの取組を基に、実社会へ貢献することと探究的に学習すること今までの取組の成果についてまとめ、単元全体の学ぶことの価値について話し合う。	○べえ風やその文化、べえ風の復活に力を注ぐ人々についての捉えの変容や地域への愛着の高まりを実感できるように、単元始めのべえ風やその文化、べえ風の復活に力を注ぐ人々への思いや願いを記述した学習プリントと掲示物の用意をする。	◇高まったべえ風やその文化、べえ風の復活に力を注ぐ人々や地域への思いと自らの成長について記述している。 <学習プリント③>	